

B A C C H U S リーグ 2005 競技規定

* 印は2004年と変更

* <開催期間>

2005年2月1日～3月30日、及び10月1日～12月31日

<参加資格>

バックスカイススポーツクラブの会員を原則とするが、会員以外でも競技会への参加希望者は、谷田顧問もしくは競技会の運営担当者の許可を得れば参加できる。

* <使用グライダー>

DHV、AFNOR カテゴリーをパスしているか強度試験にパスしていること。機体の変更は任意である。グライダーカテゴリーによるクラス分けを行う。

<装備について>

安全なヘルメット、緊急用パラシュートを装着すること。パラストの使用は認めるが、投棄できるパラスト(水等)の使用は十分注意すること。無線は必ず携帯すること。飛行中の無線周波数は前もって定めたものを使用すること。

<競技会の開催日>

5名以上の参加者があれば随時開催できるものとする。

* <競技の申告>

競技の申告は、受付簿に名前を記入することにより認められる。10:00までに記入した者には、その日のタスク設定に関してゲートオープン時間前までに意見を述べる事ができる。

<競技時間>

競技はゲートオープン時刻からランディングクローズ時刻の間に行われる。

* <タスク>

パイロン設定は、3名以上の選手相互間により決定する。

- ・ Elapsetime To Goal(エラップスタイルレース):決められたコースを最初にスタートして最短時間で飛行し最初にゴールしたものを1位とする。スタートは地上からの場合はウィンドウオープン中選手の自由とする。空中スタートする場合は、選手が最後にデバチャーオープンタイム以降にデバチャーポイントを通じた時間からタイム計測が始まる。ファーストターンポイント通過後、再度デバチャーポイントを通しても認められない。
- ・ Race To Goal(ゴールレース):目的はゴールを最初にクリアすること。スタート時間は全ての選手に対して同一である。スタート方法は地上または空中からの一斉スタートを用いる。

<テイクオフの方法>

テイクオフはフリーテイクオフとする。

* <リフライト>

リフライトを行う場合は、最後のフライトが得点対象となる。ただし、時間計測はエラップスタイルレースの場合はデバチャークローズタイム以降にデバチャーポイントを通してもデバチャークローズタイムとなる。リフライト前に、前のフライトログは消去しておくこと。

* <GPSを用いたタスク証明>

- ・ 飛行の証明は全てGPSのトラックログで判定する。
- ・ 参加選手はGPSを装備する事。(使用できる機種は主催者の指定しているもの)

- ・ 参加選手は GPS を正しいパラメーターにセットすること。
- ・ フライト前に必ず前日のトラックログを消してからフライトすること。前日のログが残ったままだとログを認識しないことがあります。リフライトの際も、前回のログを消去してからフライトすること。
- ・ 参加選手は帰着申告の際、その日の飛行のトラックログを GPS からダウンロードすること。

* < スタート方法 >

GPS でのスタートは、鉛直方向のシリンダーで作られるラインをクロスすることで確認される。

- a) 個々の選手が、ゲートオープン時間中好きな時にテイクオフする。
正確なスタート時間は、テイクオフマーシャルがパイロットのテイクオフ時間を計測するか、GPS スタートラインをパイロットがクロスした時間を用いた計測が可能である。この場合選手はスタートラインをクロスする前に 4 ポイント以上トラックログを残しておくこと。
- b) 選手個々に空中からスタートラインをクロスする。
この場合指定されたスタートラインを最後にクロスした時間が計測される。この場合スタートセクターは次のターンポイントのビッグシリンダー（例えば、テイクオフはターンポイント1から10km地点にあり、スタートの計測はターンポイント1の9kmシリンダーに最後に入ったときとなる）であり、セクターにクロスして入った時点から計測が始まる。あるいは、スタートセクターはターンポイントのsmallシリンダー（200～400m）であり、時間の計測はセクターを最後に出たときから始まる。
- c) 決められたスタートオープニングタイムに時間計測が始まり、パイロットはそれ以降にスタートラインをクロスしていかなければならない。スタートセクターは個々にスタートする場合と同様なビッグシリンダー又は、smallシリンダーを採用する。
- d) 決められたスタートオープニングタイムから時間計測が始まり、パイロットはそれ以降にテイクオフしていく。スタートの方法は、タスクブリーフィングで細かく発表される。

* < ターンポイント、セクター、GPS を用いたゴールライン >

ターンポイント

ターンポイントは、GPS コーディネイト（座標）とする。使用するマップディタムは WGS84、ポジションフォーマットは UTM を使用する。

セクター

ターンポイントのセクターは、主催者が指定したターンポイントのコーディネイトを中心としたシリンダーとする。シリンダーの大きさは使用するグライダーによって下記のようにクラス分けを行う。

C1 クラス（シリンダーサイズ200m）

AFNOR COMPETITION、コンペライン等を使用のグライダー

C2 クラス（シリンダーサイズ300m）

DHV2 - 3、DHV2、AFNOR パフォーマンス

C3 クラス（シリンダーサイズ400m）

DHV1 - 2以下または AFNOR スタンダード

ゴール

ゴール計測する最終時刻はタスクボードに掲示される。ゴールクローズ後のゴールにはタイム得点を与えられない。

ゴールラインを設ける場合：GPS でのゴール座標を中心とした、最終ターンポイントとゴールを結ぶ直線と垂直方向の、400mのラインとする。パイロット

はこのラインをクロスしなければならない。

ゴールをシリンダーとする場合：GPSでのゴール座標を中心としたシリンダーとする。パイロットはこのシリンダーで作られるラインをクロスしなければならない。シリンダーサイズは使用機体によりターンポイントと同様にクラス分けされる。

* <タスクの証明>

タスクの証明は、1つのGPSのトラックログに限られる。二つ以上をつなげて一つとすることはできない。

・トラックログは少なくとも、2分間、5ポイント以上の連続したものをスタートセクターの前後、ターンポイントの前後に残さなければならない。

・トラックログには時間のデータが残っているものでなければならない。

・連続したトラックログは20秒以下の間隔の連続したものが望ましい。

スタートラインをクロスした証明、ターンポイントに入った証明は以下のようなログが残っていること。

・通常のシリンダーセクターの中に残るポジション

・スタートラインをはさんだ連続した2個のポジション

・MARKされたポジションは証明には使わない

* <GPSについて>

GPSのデータにより次の事項が判定される。

・スタート時刻

・シリンダーセクターをクロスした時刻

・ランディング地点

・ゴール到着時刻

・飛行中のベストポジションの判断

・決められた時刻の飛行位置(飛行中にタスクストップがかかった場合)

* <ベストポジション>

選手の飛行距離は、ベストポジション(飛行中目標地点に最も近づいた地点)またはランディングした地点で計測される。ランディングした選手は、MARK ENTER ファンクションでランディング地点を申告しなければならない。ベストポジションがランディングポジションより有利な場合はベストポジションによって飛行距離が計測される。

<ランディング>

アウトサイドは0点となる。その際、スカイパーク宇都宮のアウトサイド規定に従うこと。多気山周辺は、指定ランディング場以外はアウトサイドとなる。また、回収はできるだけ選手相互間で協力して行うこと。また、ゴルフ場へのランディングは厳禁とする。やむなくランディングした場合そのフライトは無効とし、罰金は時価となる。

<帰着申告>

フライトが終了したなら、速やかに帰着申告・GPSの提出を行わなければならない。

帰着申告は16:00までとする。(フライト当日に提出しなければ無効となる)

* <競技会の成立>

参加人数の30%(小数点以下四捨五入)以上の者が、タスクのミニマム以上を達成し、なおかつ1人以上が10km以上フライトした時。ミニマム距離は3kmとする。

* < 得点の計算 >

GAP RACE2002のスコアリングフォーミュラ を用いて順位を出し、下記のリーグポイントをつける。

得点(リーグポイント) = (N - n) × 大会係数

N = 競技会参加者でフライトの意志を表明した人数で、参加者が8人以上となった場合は、MAX10とする。

n = 本人順位。ただし1位 = 0。

大会係数 = ゴールまでの距離(ゴール者が出た時及びゴール者にのみ適用される。)

10km 未満 = 1、10km = 1.05、20km = 1.1、30km = 1.15、40km = 1.2、50km = 1.3

同位の順位が2名以上出た場合、その得点を同立人数で割った点数とする。

パラメーターは JPA オープンリーグに準じる。

パラメーター : ノミナルディスタンス : 15 km

ノミナルタイム : 1H

ノミナルゴール : 5%

ミニマムディスタンス : 3 km

* < 順位の決定 >

年間上位10本のトータルポイントにより順位を決定する。

* < その他 >

本規定に定められていないものは、原則として JPA オープンリーグ競技規定、JPA 公認大会規定に準ずる。

パイロン一覧(測地系は WGS 8 4)

	ID	パイロン名	ZONE	経度 (x)	緯度 (y)	高度(m)
1	A21022	メインランディング	54S	0388781	4052622	220
2	A22018	緊急ランディング	54S	0389109	4051416	180
3	B01053	赤岩山	54S	0388957	4053327	530
4	B02057	古賀志山アンテナ	54S	0390306	4053622	565
5	B03021	城山西小学校	54S	0389490	4052244	212
6	B04018	盲学校	54S	0390322	4051247	176
7	B05018	ウエルサビア(旧厚生年金)	54S	0390116	4050448	179
8	B06038	多気山	54S	0393062	4051736	376
9	B07023	旧 J セレモホテル	54S	0393805	4055548	230
10	B08045	羽黒山	54S	0399980	4063239	450
11	B09023	赤川ダム	54S	0391841	4053200	230
12	B10022	スカイパークLDの青い屋根	54S	0388749	4052531	220
13	B11019	武子集落センター	54S	0388725	4050629	190
14	D00048	第3 テイクオフ	54S	0389191	4053238	480

以上